

令和5年度英語教育改善プラン推進事業 成果発表会



令和6年2月9日(金)
山梨県教育委員会
義務教育課・高校教育課

Today's Menu

(1) 令和5年度英語教育改善プラン推進事業について

- 学校種間接続(小中高連携)について
- 取組内容について
- 成果物について

(2) 成果検証

- 令和5年度英語教育実施状況調査【速報値】
- 研究指定校アンケート ※小学校分科会
- 外部検定試験(GTEC) ※中・高等学校分科会

(3) その他(諸連絡)

山梨県英語教育改善プラン推進事業

【背景】グローバル化の更なる進展・ポストコロナを見据えて
 ○ 自国や他国の言語や文化を理解し、日本人としての美德やよさを生かし、
 グローバルな視野で効果的に対外発信できる資質・能力の育成が不可欠。
 ○ 国際共通語としての英語によるコミュニケーション能力においては、「読む」、
 「書く」、「聞く」、「話す」のバランスのとれた育成が重要。
 ○ 海外に飛び出して文化や価値観の多様性に触れ、世界中の人々と協働する
 力を育成するために、教育課程外・学校外の活動の充実も必要。
 参考：英語教育・日本人の対外発信力の改善に向けて(アクションプラン)

【課題】令和3年度英語教育実施状況調査結果(山梨県結果)より
 ○ CEFR A1レベル(英検3級)相当以上の中3生の割合 39.3%
 CEFR A1レベル(英検準2級)相当以上の高3生の割合 48.9%
 ○ CEFR B2レベル(英検準1級)以上の教師の割合 中32.0% 高82.2%
 ○ 授業の半分以上、言語活動を行っている割合 中68.8% 高50.0%
 ○ 授業の半分以上を英語で行っている教師の割合 中70.8% 高46.8%
 ○ パフォーマンステスト(話す・書く)両方実施の割合 中90.8% 高49.1%
 ○ デジタル教科書・教材を含むICT機器の効果的な活用

【事業目的】

小・中・高等学校を通じて、客観的データを基に授業改善・学習改善を行い、ICTを活用しながら、4技能をバランスよく育成し、グローバル社会に生きる児童生徒に求められる発信力の向上を確実に図る。

【事業内容】



山梨県教育委員会
 国際交流・異文化体験活動

県下・全国に波及する効果

- ☑ 客観的データ(CEFR-J)に基づいた4技能における的確な指導改善・評価改善。
- ☑ 言語活動を中心に据えた、英語で行うことを基本とした授業の実施。
- ☑ パフォーマンステストやペーパーテストにおけるテストングの質の向上。
- ☑ デジタル教科書・教材を含むICT機器を活用した効果的な実践を共有。

児童生徒の
 4技能育成
 発信力向上



ア 英語による言語活動に重点を置いた授業づくりにおいて 学校種間の共有が不足

	言語活動時間		英語使用状況	
	児童生徒が半分以上の時間、 言語活動を行っている（50%程度以上）		教師が発話の半分以上を 英語で行っている（50%程度以上）	
	R4	R3	R4	R3
小5	91.6%	91.5%	93.4%	70.2%
小6	<u>92.1%</u>		94.6%	
中1	<u>77.2%</u>	73.8%	72.1%	68.4%
中2	70.9%		68.6%	78.5%
中3	<u>73.4%</u>	59.8%	65.7%	79.7%
高等学校	<u>59.8%</u>		50.0%	<u>55.6%</u>

※県独自調査
 ○外国語活動担当教員(研究指定校) R3 5月:39% R5 1月:57%
 ○外国語科担当教員(研究指定校) R3 5月:50% R5 1月:68%
 ○英語専科教員 R4 9月:95%

最大 約-25 ポイント

約-15 ポイント

約-15 ポイント

約-25 ポイント

イ 全ての校種において指導と評価の一体化が不十分

	CAN-DOリスト		パフォーマンステスト	
	R4	R3	R4	R3
小学校	設定:100% 公表:51.8% 把握:88.0%	98.2% 21.7% 65.1%	「話すこと」実施 98.8% やり取り 1,363回 発表 1,500回	97.9% 998回 1,209回
中学校	設定:100% 公表:68.4% 把握:79.7%	100% 37.5% 73.8%	「話すこと」「書くこと」 両方実施 93.2%	90.8%
高等学校	設定:100% 公表:75.7% 把握:75.7%	100% 88.4% 93.0%	「話すこと」「書くこと」 両方実施 54.1%	49.1%

ウ 全ての校種において言語活動やコミュニケーションを重視したICTの活用が不足

	1人1台端末を活用した授業	発表や話すことにおけるやり取りをする活動	発話や発音などの録音・録画する活動	キーボード入力等で書く活動	電子メールやSNSを用いたやり取りをする活動
	50%程度以上の授業で活用した割合				
小学校	44.0%	<u>31.3%</u>	9.6%	12.1%	<u>0.6%</u>
中学校	48.1%	<u>12.6%</u>	8.9%	20.2%	<u>1.3%</u>
高等学校	—	<u>33.3%</u>	14.8%	18.5%	<u>0.0%</u>

○山梨県の主な課題

- ア 英語による言語活動に重点を置いた授業づくりについて学校種間の共有が不足
- イ 全ての校種において指導と評価の一体化が不十分
- ウ 全ての校種において言語活動やコミュニケーションを重視したICTの活用が不足



各校種で解決する
のではなく…

○山梨県の取組

- ア 小・中・高の連携を踏まえた「活発な英語による言語活動」に重点を置いた授業づくり
- イ 小・中・高、「10年間を見据えた、CEFRに基づく一貫性のある」評価改善
- ウ 全ての校種で、「個別最適な学びと協働的な学び」を往還し、児童生徒の発信力の向上につながる1人1台端末の活用に向けた先進的な取組

学校種間連携（小・中・高連携）

□情報交換（授業参観等） □交流（研究協議等） □カリキュラム作成（CAN-DOリスト等）

□指導・学習内容（言語材料等）でつなく □指導・学習方法（言語活動等）でつなく

□学習評価（パフォーマンステスト等）でつなく □教材・教具でつなく □人でつなく



授業改善・学習改善

□指導：「活発な英語による言語活動」 ※授業は英語で行うことを基本・ALT活用 等

□評価：「10年間を見据えた、CEFRに基づく一貫性のある評価」 ※テスト改善 等

□ICT：「個別最適な学びと協働的な学び」 ※1人1台端末・学習者用デジタル教科書 等

各種調査
アンケート



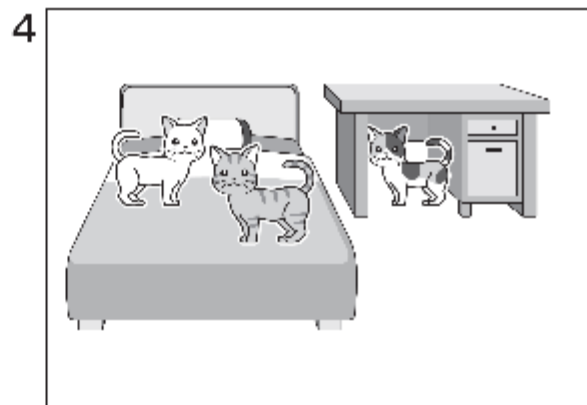
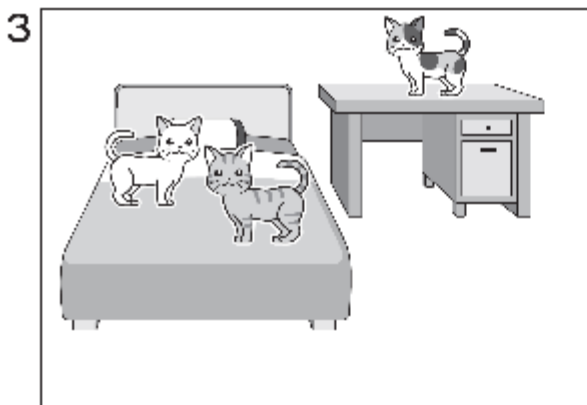
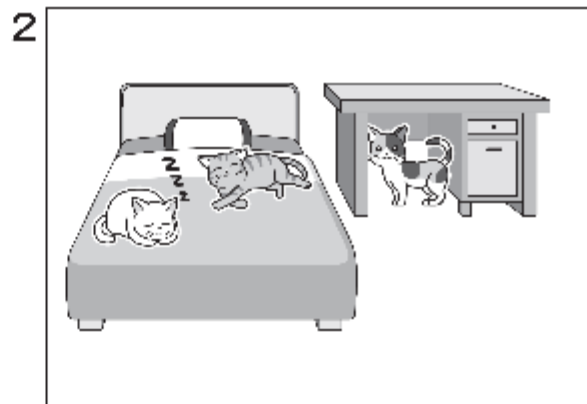
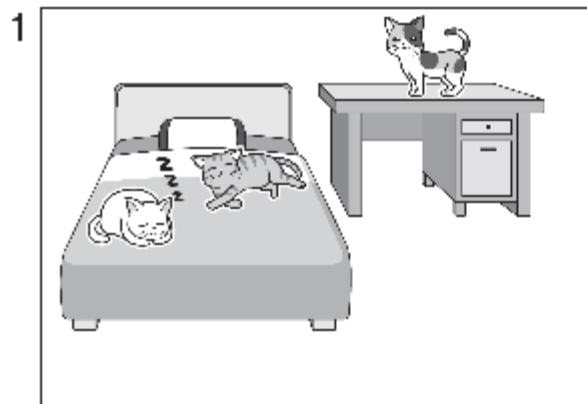
外部検定試験

児童・生徒の英語力向上（意欲含む）

1 (放送問題)

話される英語を聞いて、その内容を最も適切に表している絵を、それぞれ1から4までの中から1つ選びなさい。

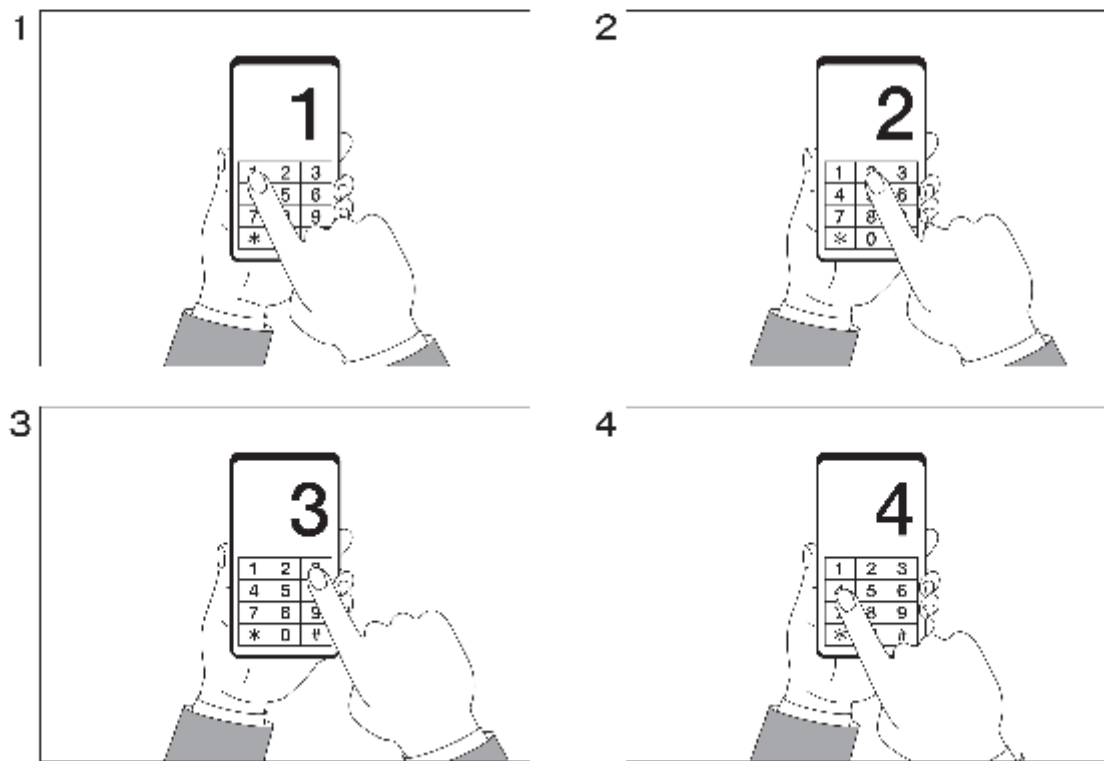
(1)



情報を正確に聞き取る

2 (放送問題)

あなたは買物からの帰宅後、ショッピングセンターに傘を忘れたことに気が付きました。電話で問合せをしたところ、自動音声案内につながりました。流れてくる音声メッセージを聞き、あなたが選択すべき番号として最も適切なものを、下の1から4までの中から1つ選びなさい。



目的に応じて英語を聞き、必要な情報を聞き取る

3 (放送問題)

あなたはイングリッシュキャンプに参加しています。これから、2班のリーダーとして明日のバーベキューパーティーについて説明を聞くところです。説明を聞いたあと、質問が放送されます。質問の答えとして最も適切なものを、下の1から4までの中から1つ選びなさい。

- 1 To tell your group members about your group's job.
- 2 To make the fire and cook rice.
- 3 To cut the vegetables and the meat.
- 4 To cut the vegetables and set the tables.

自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を聞き取る

4 (放送問題)

あなたのクラスは、シンガポールにある姉妹校の生徒たちと、オンラインで地域の課題について意見交換をしています。これから、姉妹校の生徒であるジェニーの話を知るところです。ジェニーが最も伝えたいことを、下の1から4までの中から1つ選びなさい。

- 1 There isn't enough water in Singapore.
- 2 Doing something to save water is important.
- 3 I take showers for only five minutes each time.
- 4 One of my friends uses rain water for the plants in his room.

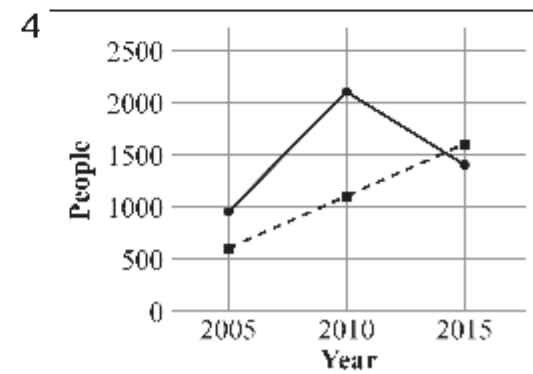
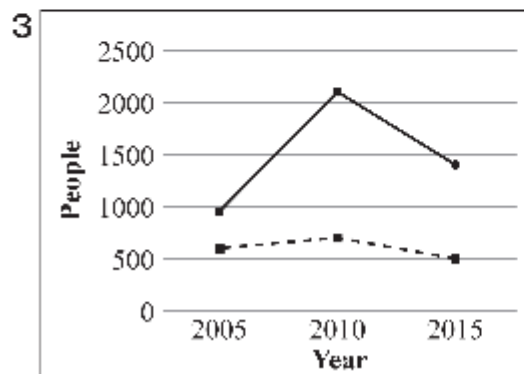
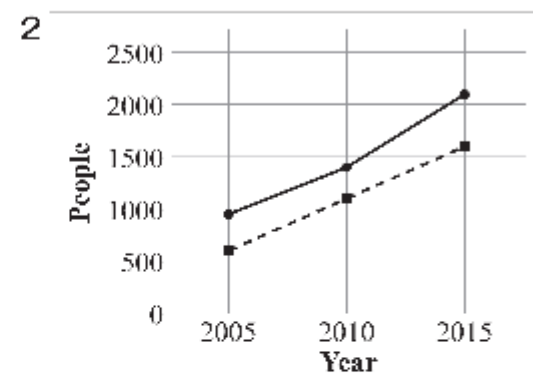
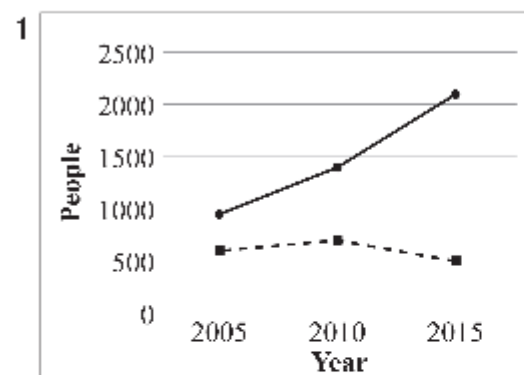
短い説明の要点を捉える

5

(1) 次の英文を読んで、その内容を最も適切に表しているグラフを、下の1から4までの中から1つ選びなさい。

In 2005, about 1,000 tourists from abroad came to Minami City. During the next ten years, the number went up. Over 2,000 tourists came to Minami City in 2015. The number of tourists from Minami City to other countries didn't go up.

— : Tourists from abroad to Minami City
- - - : Tourists from Minami City to other countries



情報を正確に読み取る

- 6 次の英文は、友達の子デビッド (David) があなたに送ったメールです。メールを読んで、デビッドにおすすめのイベントとして最も適切なものを、右の1から4までの中から1つ選びなさい。

☰ □ ✕

Events on the Weekend

Date April 13, 2023 18:45
From David

Hello. How are you?
I'm excited to stay at your house this weekend.


I hear your town has some events on the weekend. I want to join one of them with you. Which event is the best? We both love sports, music, and cooking, right? Let's choose from among them.

I will arrive on Saturday afternoon. I have to leave before 4 p.m. on Sunday because I will have dinner with my family.

I'm looking forward to seeing you soon.

↶

1 **Rugby Game**



Let's watch together!

Date & Time
Saturday, April 15
9:30 a.m. - 11:30 a.m.

Place
Midori Park

2 **Flower Market**



You can buy beautiful flowers!

Date & Time
Saturday, April 15
9:00 a.m. - 4:00 p.m.

Place
Hikari Garden

3 **City Orchestra**



You can enjoy a wonderful performance!

Date & Time
Sunday, April 16
1:00 p.m. - 3:00 p.m.

Place
Tsubomi Hall

4 **"Cook & Eat"**



Let's enjoy cooking and eating!

Date & Time
Sunday, April 16
4:00 p.m. - 7:00 p.m.

Place
Cooking Room "Wakaba"

自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を読み取る

(注) Market: マーケット

Orchestra: オーケストラ

7 次の英文は、しおりさんが英語の授業で「町の図書館」について書いたものです。これを読んで、以下の問いに答えなさい。

Libraries today are more creative than in the past. The library in our town is more creative, too. We can do a lot of things there. We not only read books and watch DVDs at the library, but also enjoy events like book talks, puppet shows, and workshops about making picture books.

There are many kinds of spaces, too. (), people can read books on sofas, on *tatami* mats or in the library cafeteria. They can relax and read books anywhere. They can use small rooms for studying, meeting, or working.

Our creative library can connect people. One of my friends likes making picture books now after he joined a workshop at the library. He sometimes asks the library staff questions about making picture books by email even now. Also, while some kids are reading together on the *tatami* mats, their parents can become friends with each other.

I hope all of you visit our creative library in the near future.

(注) creative: 創造的な

not only ~, but also ~: ~だけでなく、~も

puppet: 人形 workshop: ワークショップ

connect: ~をつなぐ while: ~する間

(1) 英文中の () に当てはまる語(句)として最も適切なものを、下の1から4までの中から1つ選びなさい。

- 1 Like this
- 2 For example
- 3 Then
- 4 Second

(2) しおりさんが書いた英文の概要(文章全体の大まかな内容)として最も適切なものを、下の1から4までの中から1つ選びなさい。

- 1 The library in the town is more creative than before. We can do a lot of things there. There are many kinds of spaces, too. The library can connect people.
- 2 There are many kinds of spaces in the library. People can relax and read books anywhere. The library can connect people. We can ask the library staff questions.
- 3 The library in the town is more creative than before. There are many kinds of spaces. In small rooms, people can study or work very hard. The library can connect people.
- 4 The library in the town can connect people. We can ask the library staff questions. Parents can become friends with each other while the kids are reading together.

文と文との関係を正確に読み取り、短い文章の概要を捉える

8 英語の授業で、ブラウン先生が作成した文章が学習者用端末に送信されました。これを読んで、以下の問いに答えなさい。

Today we see many kinds of robots around us. They are helpful. When I went shopping, I saw a robot and it was working as a guide. I could talk to the robot in English or other languages. At some restaurants, robots bring our meals. They can carry many plates at one time. Thanks to them, the restaurant doesn't need a lot of staff members. We have robot pets, too. We can have them even if we are busy with work or we live in small apartments. People will have fun if they live with robot pets. As I explained, robots can change many people's lives for the better. Do you agree with me? Why or why not?



(1) ブラウン先生が最も伝えたいことを、下の1から4までの中から1つ選びなさい。

- 1 We see many kinds of robots around us.
- 2 I saw a robot and it was working as a guide.
- 3 People will have fun if they live with robot pets.
- 4 Robots can change many people's lives for the better.

(2) ブラウン先生の質問に対するあなたの考えと理由を英語で簡潔に書きなさい。

※ 下の枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

短い文章の要点を捉えて、考えとその理由を書く

(注) plate: 皿 even if ~: たとえ~だとしても
apartment: アパート agree with: ~に賛成する

(1) 次の①、②について、例を参考にしながら、必要があれば()内の語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、**それぞれ会話が成り立つように英文を完成させなさい。**

(例) <友達同士の会話>

A : I called you at eight last night.

B : Oh, sorry. I (do) my homework then.
[答え] was doing

① <先生と生徒の会話>

A : Do you have any plans for summer vacation?

B : Yes. I (visit) my uncle in London.
I can't wait!

A : Wow, that's nice!

② <友達同士の会話>

A : Oh, you have a new watch!

B : Yes, I got it yesterday.

A : (buy) the watch?

B : At a department store near the station.

(2) 次の英文は、ある生徒が文書作成ソフトを使って、スピーチコンテスト (speech contest) についてスミス先生 (Mr. Smith) 宛てに書いた【メール文の下書きの一部】です。送信する前に友達に相談したところ、友達から【コメント】をもらいました。【コメント】にしたがって、下線部を書き直しなさい。

【メール文の下書きの一部】

Dear Mr. Smith,

How are you?

We have a speech contest next Friday.

The speech contest starts at 10:00.

You have to come to the speech contest.

【コメント】



この英文は、依頼する表現に修正したほうがよいと思う。

- 10** あなたの学校では、学校の英語版ウェブサイトを開いています。あなたは、そのサイトに学校紹介文を掲載することになりました。学校生活（行事や部活動など）の中から紹介したいものを1つ取り上げ、それについて説明するまとまりのある文章を25語以上の英語で書きなさい。

※ 短縮形（I'm や don't など）は1語と数え、符号（, や ? など）は語数に含めません。

(例) No, I'm not. 【3語】

(1) 今回の英語の問題では、まとまりのある文章を書く問題がありました。その問題について、お聞きします。

- 1 書く内容もその内容を表現する英語も思い浮かんだ
- 2 書く内容は思い浮かんだが、その内容を表現する英語が思い浮かばなかった
- 3 書く内容が思い浮かばなかった

まとまりのある文書を書く

各大問の英文や図表を読み、解答番号 ~ にあてはまるものとして

最も適当な選択肢を選びなさい。

第1問 (配点 10)



A You are studying English at a language school in the US. The school is planning an event. You want to attend, so you are reading the flyer.

A You are studying English at a language school in the US. The school is planning an event. You want to attend, so you are reading the flyer.

The Thorpe English Language School

International Night

Friday, May 24, 5 p.m.-8 p.m.

Entrance Fee: \$5

The Thorpe English Language School (TELS) is organizing an international exchange event. TELS students don't need to pay the entrance fee. Please present your student ID at the reception desk in the Student Lobby.

● **Enjoy foods from various parts of the world**

Have you ever tasted hummus from the Middle East? How about tacos from Mexico? Couscous from North Africa? Try them all!

● **Experience different languages and new ways to communicate**

Write basic expressions such as "hello" and "thank you" in Arabic, Italian, Japanese, and Spanish. Learn how people from these cultures use facial expressions and their hands to communicate.

● **Watch dance performances**

From 7 p.m. watch flamenco, hula, and samba dance shows on the stage! After each dance, performers will teach some basic steps. Please join in.



Lots of pictures, flags, maps, textiles, crafts, and games will be displayed in the hall. If you have some pictures or items from your home country which can be displayed at the event, let a school staff member know by May 17!

問 1 To join the event free of charge, you must .

- ① bring pictures from your home country
- ② consult a staff member about the display
- ③ fill out a form in the Student Lobby
- ④ show proof that you are a TELS student

問 2 At the event, you can .

- ① learn about gestures in various cultures
- ② participate in a dance competition
- ③ read short stories in foreign languages
- ④ try cooking international dishes

B You are an exchange student in the US and next week your class will go on a day trip. The teacher has provided some information.

Tours of Yentonville

The Yentonville Tourist Office offers three city tours.

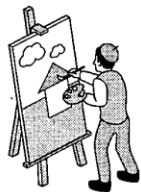
The History Tour

The day will begin with a visit to St. Patrick's Church, which was built when the city was established in the mid-1800s. Opposite the church is the early-20th-century Mayor's House. There will be a tour of the house and its beautiful garden.



Finally, cross the city by public bus and visit the Peace Park. Opened soon after World War II, it was the site of many demonstrations in the 1960s.

The Arts Tour



The morning will be spent in the Yentonville Arts District. We will begin in the Art Gallery where there are many paintings from Europe and the US. After lunch, enjoy a concert across the street at the Bruton Concert Hall before walking a short distance to the Artists' Avenue. This part of the district was developed several years ago when new artists' studios and the nearby Sculpture Park were created. Watch artists at work in their studios and afterwards wander around the park, finding sculptures among the trees.

The Sports Tour

First thing in the morning, you can watch the Yentonville Lions football team training at their open-air facility in the suburbs. In the afternoon, travel by subway to the Yentonville Hockey Arena, completed last fall. Spend some time in its exhibition hall to learn about the arena's unique design. Finally, enjoy a professional hockey game in the arena.



Yentonville Tourist Office, January, 2024

B You are an exchange student in the US and next week your class will go on a day trip. The teacher has provided some information.

問 1 Yentonville has .

- ① a church built 250 years ago when the city was constructed
- ② a unique football training facility in the center of the town
- ③ an art studio where visitors can create original works of art
- ④ an arts area with both an art gallery and a concert hall

問 2 On all three tours, you will .

- ① learn about historic events in the city
- ② see people demonstrate their skills
- ③ spend time both indoors and outdoors
- ④ use public transportation to get around

問 3 Which is the newest place in Yentonville you can visit on the tours?

- ① The Hockey Arena
- ② The Mayor's House
- ③ The Peace Park
- ④ The Sculpture Park

外国語活動・外国語科 学校段階別・「3つの柱」別の一覧

	小学校中学年 	小学校高学年 	中学校 	高等学校 
<p>学校段階ごとの違い(主なもの)</p> <p>共通の記載</p>	<p>外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、話すことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る素地となる資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。</p>	<p>外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。</p>	<p>外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。</p>	<p>外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。</p>
<p>知識・技能</p>	<p>(1) 外国語を通して、言語や文化について体験的に理解を深め、日本語と外国語との音声の違い等に気付くとともに、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむようにする。</p>	<p>(1) 外国語の音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働きなどについて、日本語と外国語との違いに気付き、これらの知識を理解するとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けるようにする。</p>	<p>(1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。</p>	<p>(1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。</p>
<p>思考力・判断力・表現力</p>	<p>(2) 身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養う。</p>	<p>(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読んだり、語順を意識しながら書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。</p>	<p>(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。</p>	<p>(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。</p>
<p>学びに向かう力・人間性</p>	<p>(3) 外国語を通して、言語やその背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p>	<p>(3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p>	<p>(3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p>	<p>(3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p>

小・中・高 連携 学校種間 接続

「令和4年度指導主事連絡協議会中学校外国語科部会行政説明資料」より抜粋

共通点

- 外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせる。
- 言語活動を通して、資質・能力を育成する。

共通点

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方

外国語で表現し伝え合うため、
外国語やその背景にある文化を、
社会や世界、他者との関わり
に着目して捉え、

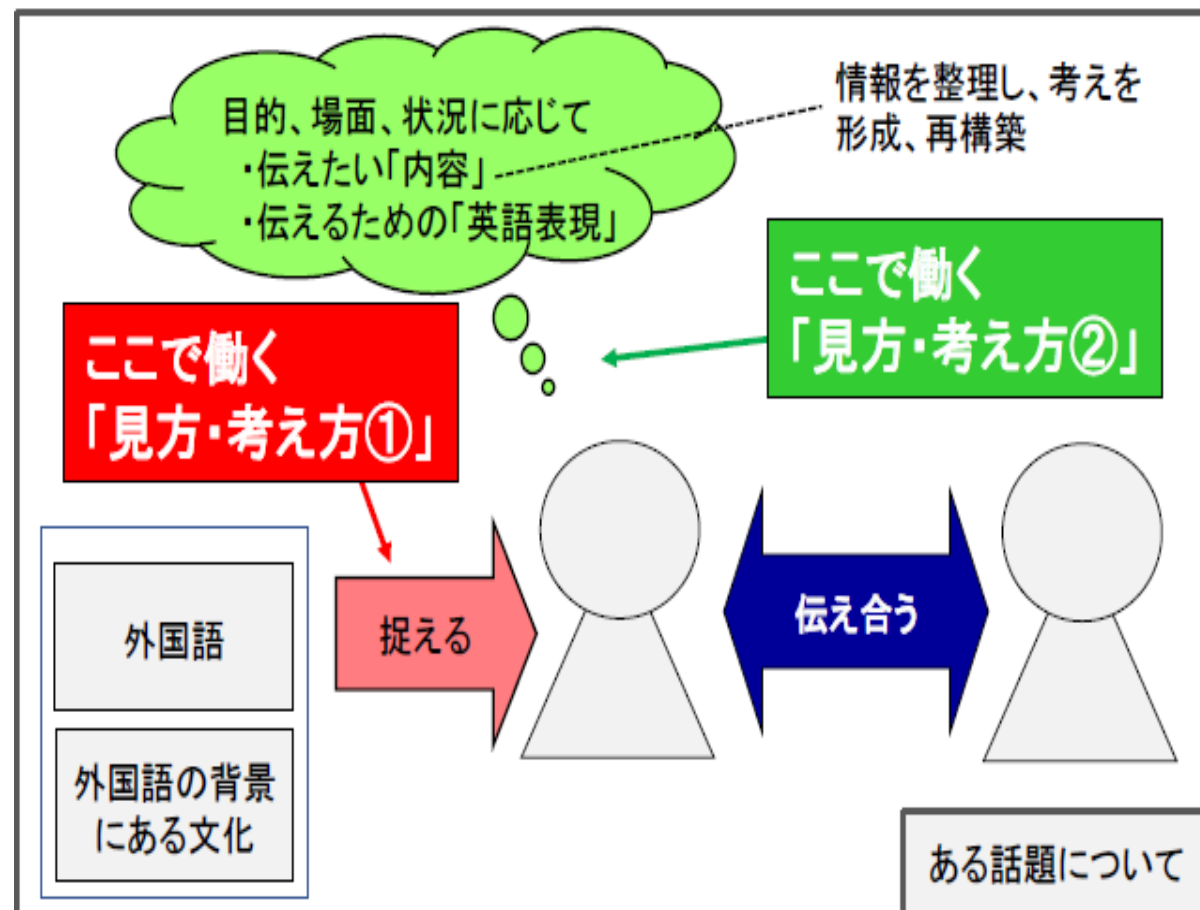
見方・考え方①

コミュニケーションを行う目的や場面、
状況等に応じて、
情報を整理しながら考えなどを形成
し、再構築すること。

見方・考え方②

「外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方」を表す図(例)

※以下の図では、便宜上、「見方・考え方」を、①と②の二つに分けて示している。



共通点

言語活動を通して、資質・能力を育成する

「言語活動」「を通して」

「言語活動」

⇒「言語活動」に取り組んでいるか？

「を通して」

⇒言語活動「に取り組みながら」学んでいるか？

「言語活動」に取り組んでいるか？

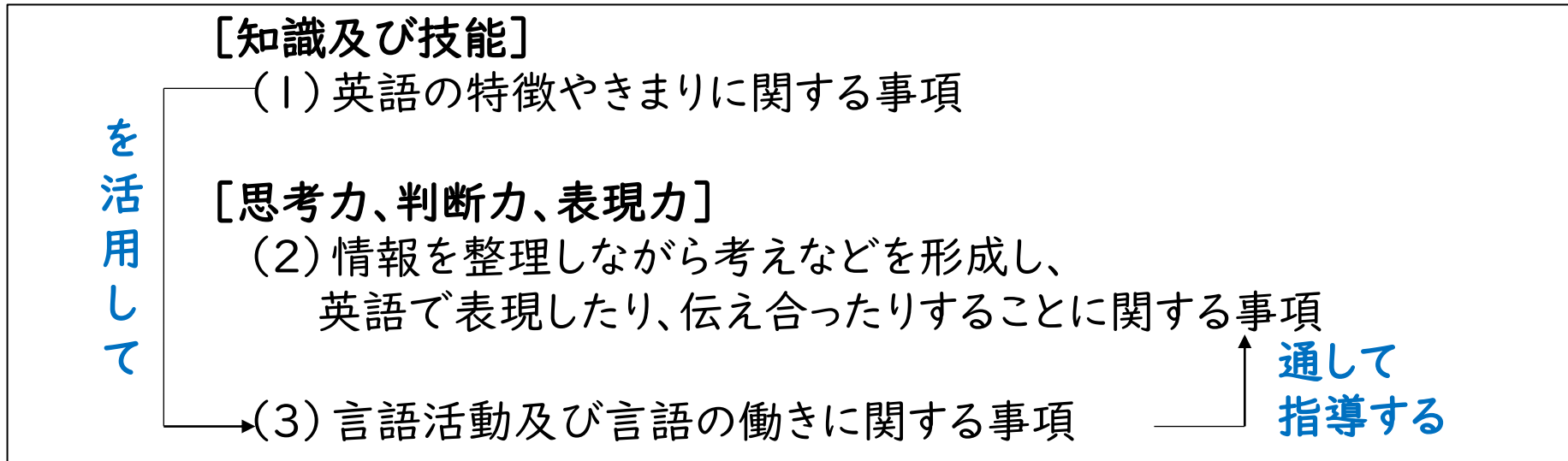
「言語活動」とは、知識及び技能を活用し、思考力、判断力、表現力等を育成するために取り組むもの

(3) 言語活動及び言語の働きに関する事項

① 言語活動に関する事項

(2)に示す事項については、(1)に示す事項を活用して、例えば、次のような言語活動を通して指導する。

ア 小学校学習指導要領第2章第10節外国語の第2の2の(3)に示す言語活動のうち、小学校における学習内容の定着を図るために必要なもの。



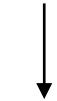
コミュニケーションを行う目的、場面、状況に応じて、
理解・・・**概要、要点、必要な情報**を捉えるなどの活動
表現・・・考えなどを形成し**(表現内容を考え)**表現する活動

生徒が考える
活動前の
与えすぎ×
教えすぎ×

言語活動に「取り組みながら」学んでいるか？

練習

理解して、
できるようになっ
てから



言語活動

使う

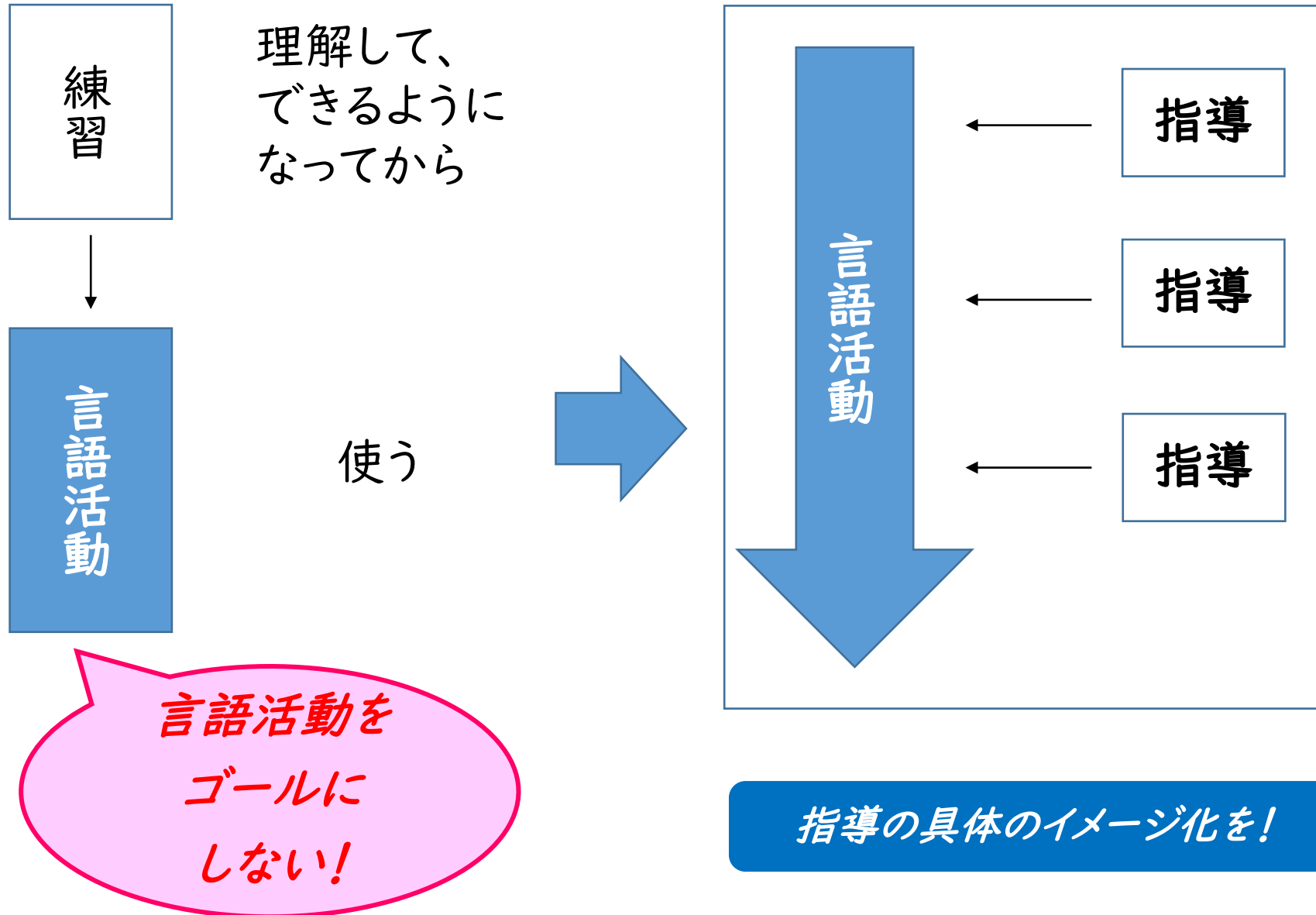
言語活動を
ゴールに
しない!

展開案

1. 帯活動
2. 導入（本時の課題）
3. 練習
4. コミュニケーション活動
 - (1) ペアで
 - (2) グループで
5. 振り返り

共通点

言語活動に「取り組みながら」学んでいるか？



共通点

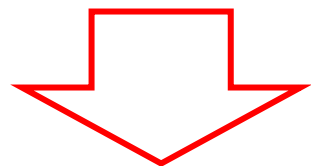
言語活動を通して、資質・能力を育成する

「言語活動」

⇒「言語活動」に取り組んでいるか？

「を通して」

⇒言語活動「に取り組みながら」学んでいるか？

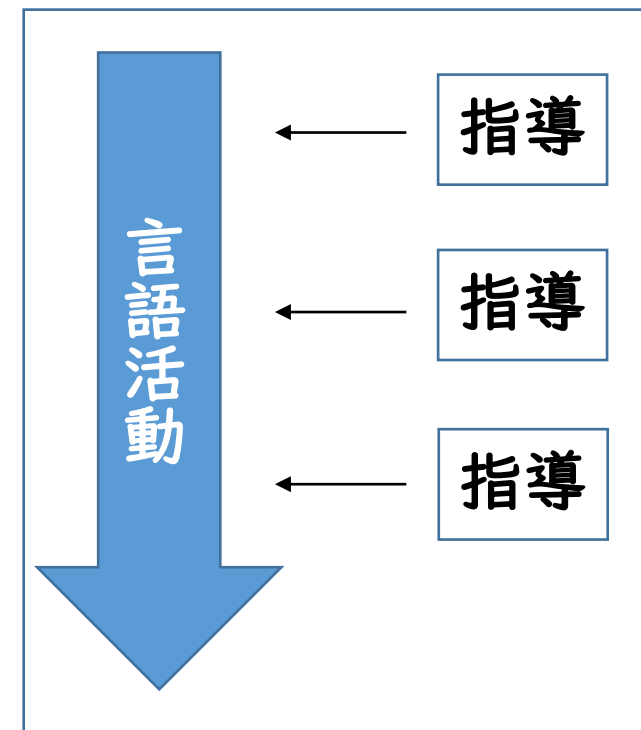


「資質・能力を育成」

⇒①知識及び技能 ②思考力・判断力・表現力等
③学びに向かう力・人間性等 を育成しているか？

⇒言語面・内容面・態度面（主体）

児童・生徒の英語力向上に結びついているか？

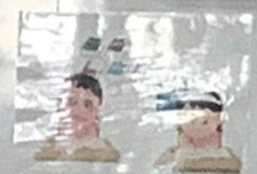


R5本事業

- ・教師の中間指導・評価
- ・児童生徒の学び方
(個別・協働・ICT活用)

Sunday
October 16th

本時の目標
テイラー先生が最近挑戦していることについての相談に答えられるように、専門的なアドバイスができる北東中の先生を紹介しよう。



040

言語面

She's likes music.
She is good at music.

内容面

She is kind.
He is cool.
I like Mr./Ms. ~
So you can talk about ~
Do you know ~?

相違点

小学校	中学校
文字	
文構造	文法
単文	重文・複文
聞く・話す > 読む・書く	聞く・話す・読む・書く
読むこと・書くことの指導の目的・在り方	
	言語活動の高度化 話題の広がり(日常的な話題・社会的な話題) 語彙の大幅増加 領域統合型の言語活動

相違点

中学校	高等学校
目標	目標
<p>外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。</p>	<p>外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。</p>
話すこと[やり取り]・[発表]・書くこと 領域別目標	
<p>社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うこと / 話すこと / 書くこと / ができるようにする。</p>	

中学校と高等学校の接続

【中学校でも高等学校でも大事にしたいこと】

外国語によるコミュニケーションを図ることができるよう

✓言語活動を通して指導すること

☞内容面と言語面（言語材料を定着させるための指導）の
両側面からの指導の充実

中学校と高等学校の接続

【高等学校】言語活動の高度化を成す要素

- 話題: 高校生の生活範囲・国内外で起こっている事象・社会で起こっている
様々な出来事や問題・時事的な話題や学術的な話題など
- 言語材料: 中学校で既習した言語材料を活用し、定着を図る。
- テキストタイプやジャンル: 対話・放送・スピーチ・説明・討論・インタビュー・
ニュース・講演／メール・パンフレット・説明文・論証文・
新聞記事・広告・報告文・物語・記録文・叙述文
- 言語活動: 領域統合
- 言語の働き: 話題を変える・要約する・提案する・主張する・説得する

中学校と高等学校の接続

【中学校との接続が生きる指導】

中学校でも高等学校でも大事にしながら、段階的に育成するために

- 読むこと: 高校では、読む量が増え、そのレベルが上がる

テキストタイプや、目的に応じた様々な読み取りの指導

- 話すこと[やり取り]: 社交的なコミュニケーションや情報や意見を交換する

コミュニケーションから、課題解決や合意形成を図るような

相手の行動を促すような交渉的なコミュニケーション

- 言語材料: その活用は、高校でも習熟を目指す

定着するための文法事項の指導（なぜその文法を使うのか）

1学期

異校種の授業を「知る」

指定校連絡会議・第1回ワーキング

- 甲府市立相川小学校
6月 2日(金)
- 甲府市立北東中学校
6月23日(金)

- 甲州市立塩山北小学校
6月22日(木)
- 甲州市立塩山中学校
7月 6日(木)・7日(金)

- 甲府西高等学校
6月15日(木)
- 都留高等学校
7月11日(火)・12日(水)

県内英語科教員対象
研修会

- ・小中高連携研修会
- ・小学校英語専科教員
- ・中学校英語科教員
- ・高校教員英語部会 等

2学期

異校種の授業を「つなぐ」「生かす」 提案授業 GTEC

3学期

成果発表会(県内外へ)

R4

研究指定校：南西中学校
同一地区小学校：石田小・国母小



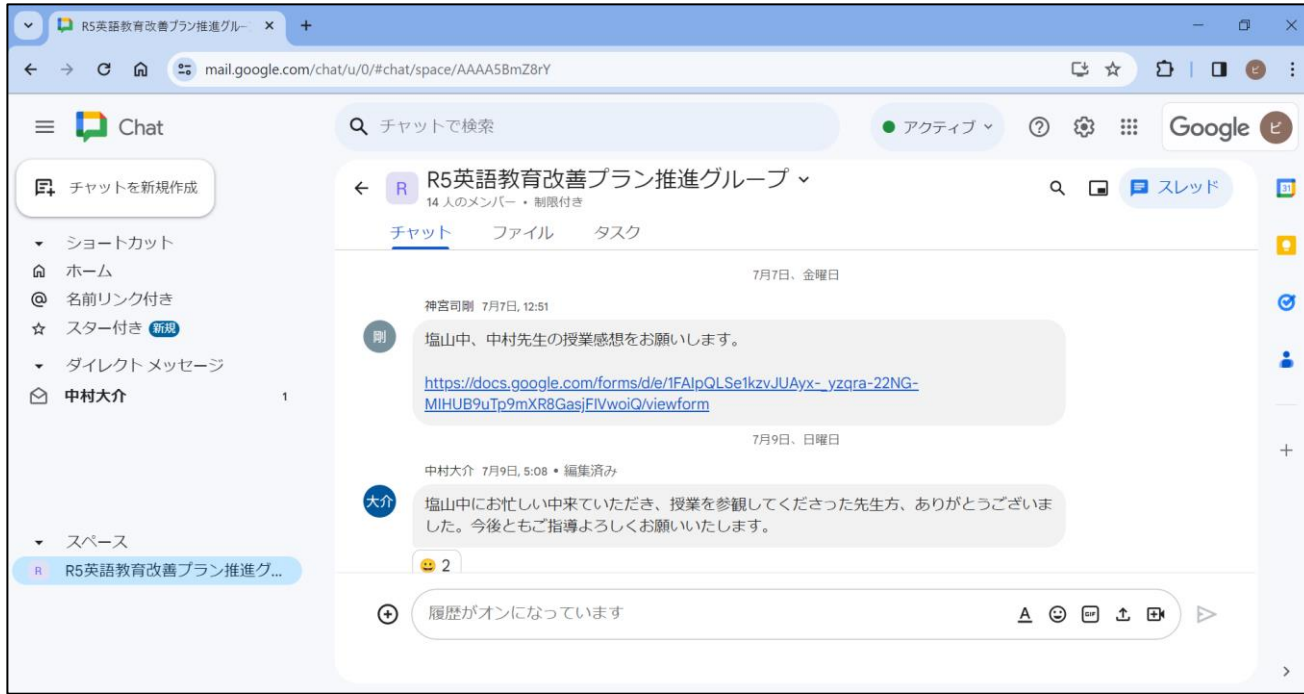
R5

研究指定校：北東中学校
同一地区小学校：相川小・新紺屋小

上条中学校
同一地区小学校：大国小・大里小
国母小・南西中
5校会合同研究会

甲府西高校
国際バカロレア (IB) 授業参観

甲州市 学校種間接続取組（Google Chatによる「情報交換」・「交流」）



甲州市
外国語教育
協議会

ICT端末を
用いた研究会

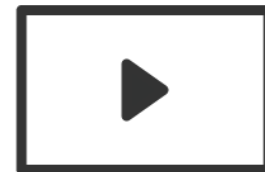


○山梨県の取組

- ア 小・中・高の連携を踏まえた「活発な英語による言語活動」に重点を置いた授業づくり
- イ 小・中・高、「10年間を見据えた、CEFRに基づく一貫性のある」評価改善
- ウ 全ての校種で、「個別最適な学びと協働的な学び」を往還し、児童生徒の発信力の向上につながる1人1台端末の活用に向けた先進的な取組



令和5年7月7日(金)
甲州市立塩山中学校 2学年 中村大介 教諭



Here We Go! Unit4 Tour in New York City
Part3 ニューヨークって最高!

単元の目標 担任の先生やクラスの友達が行ってみたい、やってみたいと思えるような、今年の夏休みの予定を伝えることができる。

本時のポイント Small Talk : 中間指導
Reading : 学習者用デジタル教科書
Writing : 書くこと⇔やり取り

} 言語活動×ICT

異校種参観を終えて

【小学校教師の声】

○異校種の授業を参観した上で、気づいたこと

共通点

- ・中 : 単元で学習しているトピックをもとに、やり取りを通してコミュニケーションを図っている。
- ・中 : 授業のはじめに、目的や場面、状況などを設定したスモールトークを行っている。
- ・中 : 中間指導（目標達成のための指導）を行っている。どの校種でも基本になっているように感じた。
- ・中高 : 生徒が英語や日本語で話し合い、課題解決を行っている。（協働的な学びが展開されている。）

相違点

- ・中高 : 「読むこと」「書くこと」の目的意識を持たせずらいのか、学習の流れの中で、何となく読んだり書いたりしているように感じた。
- ・中高 : 単語練習を生徒に委ねている部分が多かったように感じた。
- ・高 : 単語練習、音読練習に多くの時間を割いていた。実際に会話をしている時間はやや少なかった。

○言語活動を充実させるICT活用について

共通点

- ・中 : 端末の活用（学習者用デジタル教科書、録画機能、振り返り等。）
- ・中 : チャット機能を活用し、生徒が気づきを共有する学習が行われていた。話すことの内容が深まった。
- ・中高 : 話し合いで出てきた考えや気持ちなどをクラウド上に保存し、永続的に可視化していた。

相違点

- ・高 : 端末は、ディベートに必要な情報を集める手段であり、集めた情報をまとめるための手段となっていた。より社会生活において実用的な活用になっていたと思う。

異校種参観を終えて

【中学校教師の声】

○異校種の授業を参観した上で、気づいたこと

共通点

- ・小高：バックワードデザインで単元計画が行われていた。単元終末のパフォーマンステストに向けて、毎時間の授業をどのように積み上げていくかに重点が置かれている。
- ・高：文法等の知識を教え込まずに、生徒に気づかせる指導を行っていた。
- ・高：学習のまとめとして、**Retelling**を取り入れて指導して、中学校での学びも生かされていると感じた。
- ・高：中高接続のことを考えると、社会的な話題に対しても、生徒が考え、自分の考えや気持ちを表現する言語活動を充実させる必要がある。

相違点

- ・小：小学校の中間指導は、内容面をメインにフィードバックをしていた。
- ・高：高等学校の中間指導は、言語面をやりつつ、内容面の指導を行っていた。
- ・高：中学校では学力差が大きい場合もあり、ペアワークが成立しないケースもあるが、高校生は自然にペアやグループでやり取りができていた。
- ・高：パフォーマンステストが「山梨県をアピールする広告」作成だったが、誰を相手にアピールするかという部分が曖昧だった。どの校種でも相手を明確にする必要はあるのではないか。

○言語活動を充実させるICT活用について

相違点

- ・小：視覚的な情報をICTを用いて教師から児童に多く提示。提示された情報から言語活動行っていた。
- ・高：教師側の活用は必要最低限で、生徒が1人1台端末を自由に活用しながら学習を進めていた。⁴⁰

異校種参観を終えて

【高等学校教師の声】

○異校種の授業を参観した上で、気づいたこと

共通点

- ・中 : **Global Error**についてはきちんと指導する必要がある。まとまりのある英文を書かせることは必要。
- ・中 : 「時制」は文全体の分かりやすさを左右する重要な文法事項。文法用語で教えるのではなく、生徒が活用のイメージをもつことをが大切。コミュニケーションを支えるものだと認識して指導する。
- ・小中 : 主体的に学習に取り組む態度の評価は、児童生徒が自己調整しているかを考慮している。

相違点

- ・小中 : 目的や場面、状況等の設定、足場かけ、中間指導が根付いている。
- ・小中 : 教材の視覚化や板書がわかりやすい。
- ・小中 : 学んできたことの延長で新たな学びの授業が展開されている。
- ・小中 : 振り返りを丁寧に行っている。
- ・中 : 各自で教科書を「読むこと」の時間が少ないと感じた。

○言語活動を充実させるICT活用について

共通点

- ・小中 : **Google** スプレッドシートは一覧性があり使いやすい。フィードバックを**Forms**で行うと、その都度になってしまい、前回や昨年度のものが見られないデメリットがある。

相違点

- ・小中 : 生徒が活動に入るまでの時間が早く、教師も使い慣れている。
- ・小中 : 学習者用デジタル教科書でリスニングを個別に聞くことがとてもスムーズだった。

異校種の学習者用デジタル教科書の活用

【全ての校種の教師の声】

- ・教材研究時に、教師自身が指導に見通しをもつことができた。異校種の言語活動や言語材料を確認している。

【小学校教師の声】

- ・単元の最後に、中学校の言語活動を示し、今取り組んでいる活動の意味を系統的に確認している。
- ・中学校の教科書にあるリスニングを授業で行って見たら、児童は意外とできそうな感覚をもっていた。

【中学校教師の声】

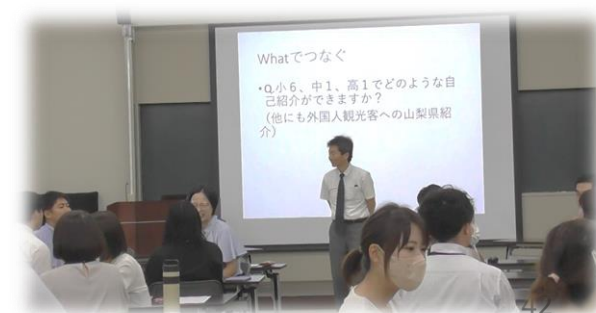
- ・小学校のデジタル教科書を見たあと、「中学生だから、小学校の時よりもレベルアップした英語を使おう」と投げかけると、中学校の教科書から、小学校にはない表現内容を引き出そうとする姿が見られた。
- ・異校種の単元末パフォーマンステストを把握し、系統性を意識したパフォーマンステストを実施した。

【高等学校教師の声】

- ・音声をすぐに聞けることは利点だが、デジタル教科書で読むよりも紙の教科書で読んだ方が頭に残るというデータもあるので、分量が多くなった場合に適切なのか疑問。
- ・文字や写真を拡大できるので便利。

小中高連携研修会・県内英語科教員対象研修会

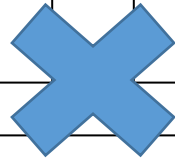
- 県版小中高連携CAN-DOリストを提示
- 研究指定校による1学期の授業動画を活用
- 研究指定校教師によるパネルディスカッション
- 各校種の県内英語担当教師対象研修会に異校種の先生方も参加可能
(小学校英語専科教員研修会、中学校英語科教員対象学習会等)



2学期 異校種の授業を「つなぐ」「生かす」 提案授業 第2回ワーキング

- 甲府市立相川小学校
11月24日(金)
- 甲府市立北東中学校
10月16日(月)

- 甲州市立塩山北小学校
11月28日(火)
- 甲州市立塩山中学校
11月10日(金)



中学校・高等学校
GTEC

- 甲府西高等学校
12月15日(金)
- 都留高等学校
12月15日(金)

県内英語科教員対象
研修会

- ・小中高連携研修会
- ・小学校英語専科教員
- ・中学校英語科教員
- ・高校教員英語部会 等

3学期 成果発表会 令和6年2月9日(金) 実施

第3回ワーキング

Yamanashi English Channel (YEC)

英語教育改善プラン推進事業 提案授業③

小学校の学び方を生かした
「話すこと[発表]」の指導



授業者:伊東 葵



Tayla Meyer

2023年10月16日
甲府市北東中学校

小・中・高を通じた山梨県版学習指導案 ～目標と指導と評価の一体化～

特徴

バックワードデザイン

- ①CAN-DOリストを単元目標へ
- ②(複数)単元末パフォーマンステスト
3観点ルーブリック・児童生徒のbの姿
- ③指導と評価の計画
指導に生かす評価・記録に残す評価
- ④本時の展開 など



研究指定校学習指導案

Today's Menu

(1) 令和5年度英語教育改善プラン推進事業について

- 学校種間接続(小中高連携)について
- 取組内容について
- 成果物について

(2) 成果検証

- 令和5年度英語教育実施状況調査【速報値】
- 研究指定校アンケート ※小学校分科会
- 外部検定試験(GTEC) ※中・高等学校分科会

(3) その他(諸連絡)

**ア 英語による言語活動に重点を置いた授業づくりにおいて
学校種間の共有が不足**

	言語活動時間			英語使用状況	
	児童生徒が半分以上の時間、 言語活動を行っている（50%程度以上）			教師が発話の半分以上を 英語で行っている（50%程度以上）	
	R5	R4	R5	R4	
小5	↑ 93.9%	94.2%	91.6%	68.4%	※県独自調査 ○外国語科担当教員（研究指定校） R5 1月:68% ○英語専科教員 R4 9月:95% R5 9月:96%
小6	↑ 94.5%		92.1%		
中1	↑ 81.0%	77.2%	↑ 78.5%		
中2	± 70.9%	75.5%	70.9%	↑ 77.2%	
中3	↑ 74.7%	74.3%	↓ 69.6%		
高等学校	↑ 64.4%	64.4%	59.8%	↑ 58.2%	

中1
言語活動
英語使用
改善傾向

約-10
ポイント

約-13
ポイント

最大
約-17
ポイント

中3
英語使用
改善必要

約-11
ポイント

イ 全ての校種において指導と評価の一体化が不十分

	CAN-DOリスト		パフォーマンステスト	
	R5	R4	R5	R4
小学校	設定:100% ↑ 公表:63.6% ↑ 把握:90.9%	100% 51.8% 88.0%	やり取り 1,506回 発表 1,477回	「話すこと」 98.8% やり取り 1,363回 発表 1,500回
中学校	設定:100% ↓ 公表:60.8% ↑ 把握:81.0%	100% 68.4% 79.7%	やり取り 467回 発表 659回 書くこと 889回	「話すこと」 「書くこと」 両方実施 93.2%
高等学校	設定:100% ↑ 公表:78.4% ↓ 把握:70.3%	100% 75.7% 75.7%	やり取り 184回 発表 297回 書くこと 418回	「話すこと」 「書くこと」 両方実施 54.1%

令和5年度英語教育実施状況調査結果より【速報値】

イ 全ての校種において指導と評価の一体化が不十分

		言語活動の内訳(全体を10としたとき)					パフォーマンステスト			
		R5					R5			
		聞くこと	読むこと	やり取り	発表	書くこと	やり取り	発表	書くこと	
小学校	5年	2.8	1.3	2.9	1.9	1.1	777回	674回	—	
	6年	2.6	1.3	2.8	1.8	1.3	729回	773回	—	
	合計20	5.4	2.6	5.7	3.7	2.4	1,506回	1,447回	—	
		聞くこと	読むこと	やり取り	発表	書くこと	やり取り	発表	書くこと	
中学校	1年	2.4	2.2	2.3	1.3	1.8	141回	216回	243回	
	2年	2.3	2.4	2.2	1.3	1.9	162回	205回	275回	
	3年	2.2	2.6	1.9	1.2	2.1	164回	238回	371回	
	合計30	6.9	6.8	6.4	3.8	5.8	467回	659回	889回	
		聞くこと	読むこと	やり取り	発表	書くこと	やり取り	発表	書くこと	
高等学校	1年	1.8	2.5	1.8	1.4	2.5	184回	297回	418回	
	2年			1.5	3.2					
	3年	1.9	3.4			3.2				
	合計30	3.7	5.9	4.7	5.6					

※中・高等学校 やり取り:インタビュー・ディスカッション・ディベート・その他
パフォーマンステスト 発表:スピーチ・プレゼンテーション

令和5年度英語教育実施状況調査結果より【速報値】

イ 全ての校種において指導と評価の一体化が不十分

		言語活動の内訳(全体を10としたとき)					パフォーマンステスト		
		R5					R5		
		聞くこと	読むこと	やり取り	発表	書くこと	やり取り	発表	書くこと
小学校	5年	2.8	1.3	2.9	1.9	1.1	777回	674回	—
	6年	2.6	1.3	2.8	1.8	1.3	729回	773回	—
	合計	↓	↓	↓	↓	↓			—
		聞くこと	読むこと	やり取り	発表	書くこと	やり取り	発表	書くこと
中学校	1年	2.4	2.2	2.3	1.3	1.8	141回	216回	243回
	2年	2.3	2.4	2.2	1.3	1.9	162回	205回	275回
	3年	2.2	2.6	1.9	1.2	2.1	164回	238回	371回
	合計	↓	↓	↓	↓	↓			
高等学校	1年	1.8	2.5	1.8	1.4	2.5	184回	297回	418回
	2年								
	3年	1.9	3.4	1.5	3.2				
	合計								

※中・高等学校 パフォーマンステスト やり取り:インタビュー・ディスカッション・ディベート・その他
発表:スピーチ・プレゼンテーション

ウ 全ての校種において言語活動やコミュニケーションを重視したICTの活用が不足

	1人1台端末を活用した授業	発表や話すことにおけるやり取りをする活動	発話や発音などの録音・録画する活動	キーボード入力等で書く活動	電子メールやSNSを用いたやり取りをする活動					
	50%程度以上の授業で活用した割合									
	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4
小学校	48.5%	44.0%	38.2%	<u>31.3%</u>	20.0%	9.6%	20.0%	12.1%	<u>0.6%</u>	<u>0.6%</u>
中学校	60.7%	48.1%	<u>22.8%</u>	<u>12.6%</u>	<u>15.2%</u>	8.9%	26.6%	20.2%	<u>1.3%</u>	<u>1.3%</u>
高等学校	—		33.3%	<u>33.3%</u>	22.2%	14.8%	33.3%	18.5%	<u>3.7%</u>	<u>0.0%</u>

英語教育に関する小中連携の実施状況

①情報交換（授業参観等） ②交流（研究協議等） ③カリキュラム作成（CAN-DOリスト等）

	R5	R4
○英語教育に関して 小中連携 を実施している学校の割合	↑ 89.9%	87.3%
全ての学校のうち、 情報交換 を実施している学校の割合 （互いの取組、実践を情報として伝えている 授業参観等 ）	↑ 78.5%	74.7%
全ての学校のうち、 交流 を実施している学校の割合 （情報交換した内容について 研究協議 を行う 互いの学校で授業等 ）	↑ 64.6%	58.2%
全ての学校のうち、小中連携した カリキュラム や 学習到達目標 などの設定を実施している学校の割合（ 小中連携CAN-DOリスト等 ）	± 17.7%	17.7%

	情報交換 （授業参観等）	交流 （研究協議・出前授業等）	カリキュラム作成 （小中連携CAN-DOリスト）
コロナ前			
コロナ禍			
コロナ後			

◎ 自ら実施する（した）
○ 実施する（した）
△ 実施できない（なかった）
× 実施しない（しなかった）

小中高連携 山梨県版「CAN-DOリスト」の形での学習到達目標 【小学校】

山梨県版
小中高連携
CAN-DO
リスト
【小学校】

【小学校卒業時の学習到達目標】				
外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを促す基礎となる資質・能力を身に付けた児童				
(1) 外国語の音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働きなどについて、日本語と外国語との違いに気づき、これらの知識を理解するとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けるようにする。 (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いた話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読んだり、語順を意識しながら書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。 (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。				
【小学校 第6学年】の学習到達目標				
聞くこと	読むこと	話すこと【やり取り】	話すこと【発表】	書くこと
ゆっくりはっきりと話されれば、よく知っている人や物、学校や家庭での出来事に関するについて、短い会話や説明の概要を捉えることができる。	音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かる。	自分や相手のこと、身の回りの物などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、その場で、関連する質問をしたり質問に答えたりして、短い会話をすることができる。	学校生活や地域のことについて、伝えようとする内容を聞き手に分かりやすく整理した上で、自分の考えや気持ち等を、簡単な語句や基本的な表現等を用いて話すことができる。	自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができる。
ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活の出来事や習慣的なことについて、必要な情報を聞き取ることができる。	活字体で書かれたアルファベットを名称読みで発音することができる。	日常生活の出来事や習慣的なことについて、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて、相手が言ったことを繰り返したり、相づちを打ったり、質問したりして、ある程度継続して伝え合うことができる。	自分のことについて、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。	語順を意識しながら、語と語の区切りを意識して、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができる。
ゆっくりはっきりと話されれば、自分のことやよく知っている人や物や学校や家庭での来事等について、簡単な語句や基本的な表現を聞き取ることができる。	活字体で書かれたアルファベットを見て、その文字が大文字であるか小文字であるかを識別できる。	初対面の人に対しても、進んで挨拶をしたり、基本的な表現を用いて指示、依頼をしたり、自分で考え判断してそれらに応じたり、断ったりすることができる。	学校や家庭での出来事等について、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。	アルファベットの大文字、小文字を活字体で四線の上に正しく書くことができる。
【小学校 第5学年】の学習到達目標				
聞くこと	読むこと	話すこと【やり取り】	話すこと【発表】	書くこと
ゆっくりはっきりと話されれば、よく知っている人や物、学校や家庭での出来事に関するについて、短い会話の概要を捉えることができる。	音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句の意味が分かる。	自分や相手のこと、身の回りの物などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、その場で、自分の力で質問したり質問に答えたりして、短い会話をすることができる。	学校生活や地域のことについて、自分の考えや気持ち等を、簡単な語句や基本的な表現等を用いて話すことができる。	自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができる。
ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活の出来事や習慣的なことについて、具体的な情報を聞き取ることができる。	活字体で書かれたアルファベットを名称読みで発音することができる。	日常生活の出来事や習慣的なことについて、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて、相手が言ったことを繰り返したり、応答したり、質問したりして、伝え合うことができる。	自分のことについて、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。	語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができる。
ゆっくりはっきりと話されれば、自分のことやよく知っている人や物や学校や家庭での来事等について、簡単な語句や基本的な表現を聞き、それらを表すイラストや写真と結び付けることができる。	活字体で書かれたアルファベットを見て、どの文字であるかを識別できる。	初対面の人に対しても、進んで挨拶をしたり、基本的な表現を用いて指示、依頼をしたり、それらに応じたりすることができる。	学校や家庭での出来事等について、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。	アルファベットの大文字、小文字を活字体で書くことができる。
【小学校 第3・4学年】の学習目標				
聞くこと	読むこと	話すこと【やり取り】	話すこと【発表】	書くこと
アルファベットの読み方が発音されるのを聞いた際に、どのアルファベットであるかがわかるようにする。		学級の友達、先生、ALT等のサポートを受けて、自分や相手のことや身の回りの物等について、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問をしたり答えたりするようにする。	身の回りの物について、人前で実物、イラスト、写真などを見せながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すようにする。	
ゆっくりはっきりと話された際に、よく知っている人や物、学校や家での出来事や日常生活で起こることなどを聞いて、基礎的な表現の意味がわかるようにする。		自分のことや身の回りの物について、ジェスチャーや表情を交えながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うようにする。	自分のこと（好き嫌いや欲しいものなど）について、人前で実物、イラスト、写真などを見せながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すようにする。	
ゆっくりはっきりと話された際に、自分の好きな色や食べ物、自分の着ている服、持ち物などを表す簡単な語句を聞き取るようにする。		学級の友達、先生、ALT等に挨拶、感謝を伝えたり、簡単な指示をしたり、それらに応じたりするようにする。	日常生活に関する身近で簡単な事柄（時刻や曜日、場所など）について、人前で実物、イラスト、写真などを見せながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すようにする。	

※CAN-DOリスト

英語学習で、「聞くこと」「読むこと」「話すこと（やり取り）（発表）」「書くこと」について児童生徒が身に付ける能力を（学年ごと）「～することができる」（CAN-DO）という目標で表し、一覧表（リスト）にまとめたもの。目標を共有することで、児童生徒が生涯にわたって主体的に英語を学習しようとする態度を身に付ける。

小中高連携 山梨県版「CAN-DOリスト」の形での学習到達目標 【中学校】

【中学校卒業時の学習到達目標】

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を身に付けた生徒

- (1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。
- (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

【中学校 第3学年】の学習到達目標

聞くこと	読むこと	話すこと【やり取り】	話すこと【発表】	書くこと
はっきりと話されれば、○語程度の社会的な話題について、要点を捉えることができる。	社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれた○語程度の文章の要点を捉えることができる。	社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを説明したり、相手により詳しい説明を求めたりするなど、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができる。	社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、自分で作成したメモなどを活用しながら要約したり、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて話すことができる。	社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて要点を捉え、考えたことや感じたこと、その理由などを、論点を明らかにしたり、順序立てたりして、簡単な語句や文を用いて書くことができる。
はっきりと話されれば、○語程度の日常的な話題について、概要を捉えることができる。	日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた○語程度の文章の概要を捉えることができる。	日常的な話題について、限られた時間で事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に回答したりして、会話を継続・発展させることができる。	日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、聞き手の反応を確認しながら、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容で話すことができる。	日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、文章構成や表現形式を工夫しながら、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができる。
はっきりと話されれば、○語程度の日常的な話題について、必要な情報を聞き取ることができる。	日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた○語程度のものから必要な情報を読み取ることができる。	関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて、即興で会話を継続・発展させることができる。	関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて、その場で考えを整理し、即興で意見を言ったり説明したりすることができる。	関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて、伝えたい内容を整理したり確認したりしながら、正確に書くことができる。

【中学校 第2学年】の学習到達目標

聞くこと	読むこと	話すこと【やり取り】	話すこと【発表】	書くこと
はっきりと話されれば、○語程度の社会的な話題について、要点を捉えることができる。	社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれた○語程度の文章の要点を捉えることができる。	社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができる。	社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、自分で作成したメモなどを活用しながら、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて話すことができる。	社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、論点を明らかにしたり、順序立てたりして、簡単な語句や文を用いて書くことができる。
はっきりと話されれば、○語程度の日常的な話題について、概要を捉えることができる。	日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた○語程度の文章の概要を捉えることができる。	日常的な話題について、限られた時間で事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に回答したりして、会話を継続させることができる。	日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、話の構成に気を付けながら、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容で話すことができる。	日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、文章構成を意識しながら、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができる。
はっきりと話されれば、○語程度の日常的な話題について、必要な情報を聞き取ることができる。	日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた○語程度のものから必要な情報を読み取ることができる。	関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて、即興で会話を継続させることができる。	関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて、メモやキーワードを頼りにしながら、即興で話すことができる。	関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて、正しい文構造や文法で正確に書くことができる。

【中学校 第1学年】の学習到達目標

聞くこと	読むこと	話すこと【やり取り】	話すこと【発表】	書くこと
はっきりと話されれば、○語程度の社会的な話題について、要点を捉えることができる。	社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれた○語程度の文章の要点を捉えることができる。	社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたことを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができる。	社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、自分で作成したメモなどを活用しながら、考えたことや感じたことを、簡単な語句や文を用いて話すことができる。	社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたことを、簡単な語句や文を用いて書くことができる。
はっきりと話されれば、○語程度の日常的な話題について、概要を捉えることができる。	日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた○語程度の文章の概要を捉えることができる。	日常的な話題について、限られた時間で事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。	日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、自分で作成したメモなどを活用しながら、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容で話すことができる。	日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理したメモなどを基に、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができる。
はっきりと話されれば、○語程度の日常的な話題について、必要な情報を聞き取ることができる。	日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた○語程度のものから必要な情報を読み取ることができる。	関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて、即興である程度継続して伝え合うことができる。	関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて、メモやキーワードを頼りにしながら、その場で考えを整理し、話すことができる。	関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて、正しい語順で正確に書くことができる。
ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近な事柄について、具体的な情報を聞き取ることができる。	音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かるようにする。	自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり質問に答えたりして、伝え合うことができる。	身近な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。	大文字、小文字を活字体で書くことができるようにする。また、語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができる。

山梨県版
小中高連携
CAN-DO
リスト
【中学校】

【活用例】 公表・把握

令和6年2月9日版

小中高連携 山梨県版「CAN-DOリスト」の形での学習到達目標 【中学校】

【中学校卒業時の学習到達目標】

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を身に付けた生徒

- (1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。
- (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

【中学校 第3学年】の学習到達目標

聞くこと	読むこと	話すこと [やり取り]	話すこと [発表]	書くこと
はっきりと話されれば、○語程度の社会的な話題について、要点を捉えることができる。	社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれた○語程度の文章の要点を捉えることができる。	社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを説明したり、相手により詳しい説明を求めたりするなど、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができる。	社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、自分で作成したメモなどを活用しながら要約したり、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて話すことができる。	社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて要点を捉え、考えたことや感じたこと、その理由などを、論点を明らかにしたり、順序立てたりして、簡単な語句や文を用いて書くことができる。
Unit 7	Unit 4・8	Unit 5	Unit 1・3	Unit 4
はっきりと話されれば、○語程度の日常的な話題について、概要を捉えることができる。	日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた○語程度の文章の概要を捉えることができる。	日常的な話題について、限られた時間で事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に回答したりして、会話を継続・発展させることができる。	日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、聞き手の反応を確認しながら、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容で話すことができる。	日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、文章構成や表現形式を工夫しながら、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができる。
Unit 6	Unit 3・5	Unit 2	Unit 6・7	Unit 8
はっきりと話されれば、○語程度の日常的な話題について、必要な情報を聞き取ることができる。	日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた○語程度のものから必要な情報を読み取ることができる。	関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて、即興で会話を継続・発展させることができる。	関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて、その場で考えを整理し、即興で意見を言ったり説明したりすることができる。	関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて、伝えたい内容を整理したり確認したりしながら、正確に書くことができる。
Unit 2	Unit 1	帯活動	帯活動	帯活動

年度はじめに、年間指導計画と紐付ける。(前後の学年や校種のCAN-DOリストも確認。)

どの単元で、この領域を中心領域として指導及び評価するのかを記す。

日常的な話題、社会的な話題、テキストタイプ等によって、バランスよく設定する。

(教科書を参考にし、各単元で受容領域1つ、発信領域1つを示すことが考えられる。)

児童生徒と共有

求められる英語力を有する生徒の割合

中学校	R5山梨県	R4山梨県	R4全国平均
外部試験を受験したことがある生徒	31.8%	30.4%	44.9%
CEFR A1レベル相当以上を取得している生徒	21.5%	19.9%	27.3%
CEFR A1レベル相当以上の英語力を有すると思われる生徒	20.5%	21.2%	21.9%
求められる英語力を有する生徒	42.0%	41.1%	49.2%

高等学校	R5山梨県	R4山梨県	R4全国平均
外部試験を受験したことがある生徒	50.9%	48.3%	51.6%
CEFR A2レベル相当以上を取得している生徒	33.7%	34.5%	30.2%
CEFR A2レベル相当以上の英語力を有すると思われる生徒	16.7%	14.0%	18.4%
求められる英語力を有する生徒 (CEFR A2)	50.4%	48.5%	48.7%
CEFR B1レベル相当以上を取得している生徒	15.9%	15.1%	12.4%
CEFR B1レベル相当以上の英語力を有すると思われる生徒	6.9%	4.8%	8.8%
求められる英語力を有する生徒 (CEFR B1)	22.8%	19.9%	21.2%



- 中学校卒業段階でCEFR A1レベル相当以上、高等学校卒業段階でCEFR A2レベル相当以上を達成した中高生の割合を5年後（R9年度）までに6割以上にする。
- また、**全ての都道府県・政令都市において**、同項目の割合を5年後（R9年度）までに5割以上にすることを目指す。

⇒山梨県教育振興基本計画（R6~R10）にも反映

Today's Menu

(1) 令和5年度英語教育改善プラン推進事業について

- 学校種間接続(小中高連携)について
- 取組内容について
- 成果物について

(2) 成果検証

- 令和5年度英語教育実施状況調査【速報値】
- 研究指定校アンケート ※小学校分科会
- 外部検定試験(GTEC) ※中・高等学校分科会

(3) その他(諸連絡)

諸連絡

分科会について

- 先生方全員、申込み時の「**第1希望**」の分科会に参加してください。
- 各校の発表の際は、配付したレジュメを参考にしてください。
(各校が発表で使う資料は、配付しておりません。)
- オンライン参加の先生方は、全体会が終わり休憩に入りましたら、
全体会から1度退出していただき、分科会に入室し直してください。
- ※ただし、小学校分科会に参加する先生方は、全体会から退出せず、
そのまま待機しててください。

Thank you for your attention.